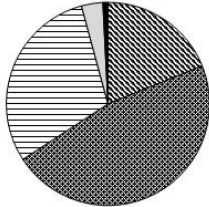


1. 生徒アンケート集計結果

未知や科学を探究する姿勢[事前]



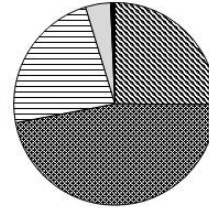
よく伸びる  
やや伸びる  
伸びない

伸びる  
ほとんど伸びない

[よく伸びた]  
[伸びた]が

66% ⇒ 72%

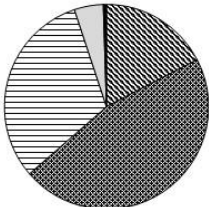
未知や科学を探究する姿勢[事後]



よく伸びた  
やや伸びた  
伸びていない

伸びた  
ほとんど伸びていない

真理を探究する姿勢[事前]

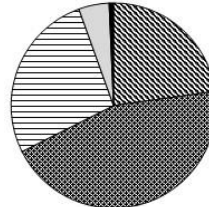


よく伸びる  
やや伸びる  
伸びない

伸びる  
ほとんど伸びない

64% ⇒ 68%

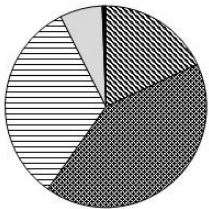
真理を探究する姿勢[事後]



よく伸びた  
やや伸びた  
伸びていない

伸びた  
ほとんど伸びていない

問題を発見・解決する能力[事前]

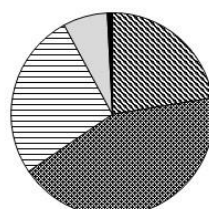


よく伸びる  
やや伸びる  
伸びない

伸びる  
ほとんど伸びない

60% ⇒ 66%

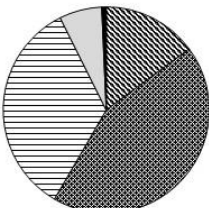
問題を発見・解決する能力[事後]



よく伸びた  
やや伸びた  
伸びていない

伸びた  
ほとんど伸びていない

事実を把握し判断する能力[事前]

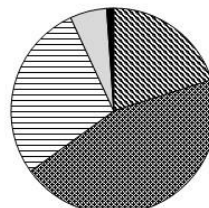


よく伸びる  
やや伸びる  
伸びない

伸びる  
ほとんど伸びない

58% ⇒ 65%

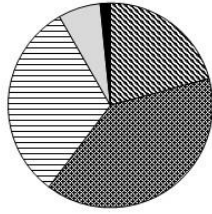
事実を把握し判断する能力[事後]



よく伸びた  
やや伸びた  
伸びていない

伸びた  
ほとんど伸びていない

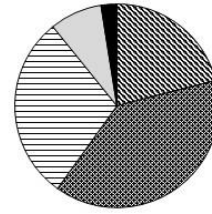
発表し伝える能力・対話力[事前]



60% ⇒ 60%

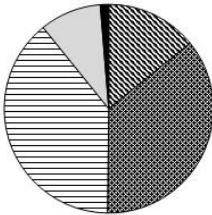
■よく伸びる      ■伸びる  
 □やや伸びる      □ほとんど伸びない  
 ■伸びない

発表し伝える能力・対話力[事後]



■よく伸びた      ■伸びた  
 □やや伸びた      □ほとんど伸びていない  
 ■伸びていない

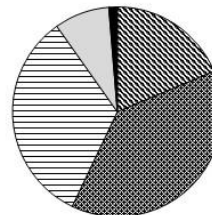
創造性・国際性などの能力[事前]



50% ⇒ 57%

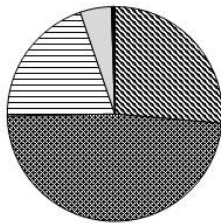
■よく伸びる      ■伸びる  
 □やや伸びる      □ほとんど伸びない  
 ■伸びない

創造性・国際性などの能力[事後]



■よく伸びた      ■伸びた  
 □やや伸びた      □ほとんど伸びていない  
 ■伸びていない

ポスターセッションの満足度]



■非常に満足      ■満足  
 □やや満足      □どちらでもない  
 ■満足できなかった

**75%が [非常に満足]、[満足]**

## 2. 生徒意見

- ・ポスターセッションに多くの人に参加できてとてもよい。もう少し事前に説明がほしい。(1年)
- ・興味のある分野がたくさんあった。再来年の参考になったが、時間が短かった(1年多数)
- ・音を使ったテーマなど実演のあるものはより面白かった。文型も何かしてみたいと思った(2年)
- ・興味ある分野を選んで聞けるため、みんな主体的に動いていた。とても楽しかった。(2年多数)
- ・文型の人がポスターセッションに協力すれば、より多くの資料を作れると思う。(3年)

## 3. まとめ

SSH 事業の生徒へ成果共有、地域への情報発信・成果還元を目的とし、11月18日(金)に事業成果発表会を行った。上記した事後アンケートの結果、[発表し伝える能力・対話力]以外の項目は約1割ほど増加した。つまり、実際に発表会に参加すると自分が予想していたより、能力が伸びたと感じている生徒が多いことを示している。また、7割以上の生徒が発表会に満足していると回答し、成果共有に関して一定の効果を出すことができた。また、豊田市長、豊田市議会議長をはじめ、近隣中学校校長、近隣大学(名古屋大学、愛知教育大学、豊田工業大学他)教授など約35名の方々が来賓として参加され、生徒保護者と併せて約100名の方に参加していただいた。地域への情報発信・成果還元に関しても一定の成果を出すことができた。

#### 4. 課題と今後の展望

今回発表を行った生徒は口頭発表を行った生徒は約 10 名、ポスター発表を行った生徒は 3 年理型の約 200 名であるため、1、2 年生のほとんどの生徒は発表を行っていない。そのため、[発表し伝える能力・対話力]の数値が上がらなかったと考える。この結果から、[発表し伝える能力・対話力]をさらに向上させるため、発表者を増やし、主体的に発表会に参加する生徒の人数を増やすことが展望として挙げられる。また、生徒意見にもあったように、今回の発表会では理型の生徒が多くポスターセッションに関わっていた。来年度からは、事業計画を改善し、1 年生から体系的に課題研究を実施し、文型も含めてポスターセッションを行うことを計画している。

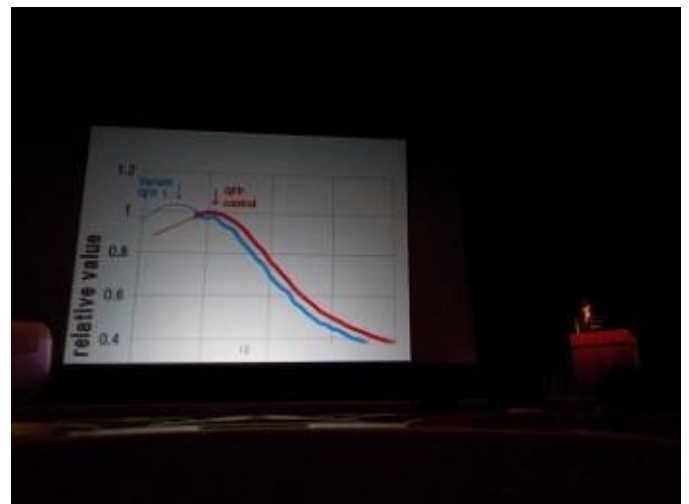
なお、来年度はすべての事業成果（課題研究、SS 科目、SSH 事業など）を学校全体で共有し、地域に発信するための発表会を 9 月末に行う。3 年生や SS 科学部に限らず、多くの生徒が発表者となり、SSH 事業の成果を発信する。発表会の名称は「豊田西高校 SSH 成果発表会」とする。

また、SSH 事業での成果を地域に発信・還元していくために、発表会だけでなく、ホームページを通しての情報発信に力を入れているが、来年度はさらにホームページでの情報発信を充実させていきたい。

#### 5. 当日の写真



[太田稔彦市長の挨拶]



[口頭発表の様子]



[ポスターセッションの様子]